

中 浪江中だより

平成28年度 No.30
平成28年
7月15日(金)
浪江中学校
校長 笠井淳一

浪江中学校の教育目標～こんな生徒たちに・・・

- 【教育目標】
- 自ら探求的に学ぶ生徒
 - 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
 - 健康で、安全な生活をする生徒

【重点目標】 **自ら向上する生徒**

馳 浩 文部科学大臣・来校



7月14日(木)、馳浩文部科学大臣が浪江中学校を訪問されました。

当日は、1・3年生が郷土料理の実習があり、できたてホカホカのカボチャまんじゅうを、生徒会長の齊藤君、副会長の齊藤さんから大臣にお贈りし

ました。大臣からは進路や将来の職業などについて質問があり、二人ともしっかりと考えを伝えていました。

実習の指導では、石井絹江さん、岡洋子さんに、大変お世話になりました。おいしい料理をありがとうございました。

インターネットで生徒会交流

7月7日(木)、インターネットのテレビ会議システムを使って、双葉中・富岡一・二中と、生徒会交流を行いました。

8月17日にふたば未来学園高校で開催される「中高交流会」で、郡内各中学校の生徒会役員が集まり、熊本県への支援などについて話し合っはどうか、など提案されました。



赤司展子さんを講師に・・・ 3年生・ふるさと創造学



6月24日（金）5・6校時、3年生の総合的な学習の時間（ふるさと創造学）において、講師に双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局・スーパーコーディネーターの赤司展子様をお招きしてお話を伺いました。

【赤司展子様のご略歴】

- ・早稲田大学商学部卒業後、三井物産に就職し、ODA等のプロジェクトに参加
- ・アルフレックス・ジャパンのイタリア家具ブランドプロジェクトに採用
- ・アメリカ公認会計士資格取得
- ・PwC Japanへ転職。
- ・福島県での復興支援に興味を持ち現・双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局に勤務。

生徒達は、赤司様の復興に関わる熱い思いにふれ、ふるさとや自分の将来のことも含め、自分自身を改めて見つめ直していました。

【生徒の感想から】

お話を聞いて、とてもカッコイイ生き方だなと思いました。子供の頃の夢はFBI捜査官やフィギアスケーター、建築家やTVプロデューサーなど、今の仕事とはまったく違っていましたが、大学からビジネスに興味を持ち、その興味を持ったものをどこまでも追っていきるのが凄いなと思いました。赤司さんが言っていた内容で一番強く残っているのは「何をするのかと、どうしたらよいかはセットで考える」という言葉です。自分がどのような生き方をしたいかを考えるきっかけにもなると思いました。そして、こうして福島でお仕事をしてくださっていることは、とてもありがたいことだと思いました。赤司さんのような生き方が全てではないけれど、人それぞれ、いろいろな生き方があるのだと学ぶことができたと思います。とてもよい経験でした。

ご支援、ありがとうございます

7月14日（木）、東北学院大学同窓会担当の増田様より、図書カードを寄贈いただきました。

同大学からは、昨年までも英語の図書など継続してご支援いただいております。心より感謝申し上げます。

